

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部		学 年	3年生	
教科等名	保健体育		グループ名	学年	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種目の基本的な運動技能を身に付けるとともに、健康安全についての知識を身に付ける。</li> <li>・各種目のルールやきまりを理解し仲間とともに運動することができる。</li> <li>・生涯にわたり主体的に運動に取り組むことができる態度を養う。</li> </ul>				
予定授業時数	普通学級:66、重度・重複学級:99				
担当教員	○大野 隆将 岸田 義文 高柳 彩子 松下 暖乃 澁谷 一成 榎本 一慶 奈良 恵理子				
使用教科書					
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通年	・体づくり運動	○	・体ほぐしの運動 ・体づくり運動	・心と体をほぐしたり、体の動きを高めたりすることができる。	・ICT機器を使用し視覚情報を取り入れる。
4 5 6	・オリエンテーション ・体づくり運動 ・陸上競技 ・体力測定 ・心身の健康	○	・オリエンテーション ・サーキットトレーニング ・短距離走、リレー ・シャトルラン、握力測定、反復横跳び、ハンドボールボール投げ など ・適切な生活習慣について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当教員や活動内容、場所など1年間の流れを知り、見通しをもてる。</li> <li>・基本的な動きを身に付けることができる。</li> <li>・きまりを守り、仲間と協力しながら運動をすることができる。</li> <li>・自己の運動技能や運動能力を知ることができる。</li> <li>・適切な生活習慣を身に付けることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーン、ライン等で活動範囲を明確にする。</li> <li>・教員による模範、目印等を活用する。</li> <li>・必要に応じて身体支援を行う。</li> <li>・ICT機器を使用し視覚情報を取り入れる。</li> </ul>
6 7 9	・水泳 ・傷害の防止	○	・水難訓練 ・水中運動 ・泳法 ・けがの予防、安全について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全に入退水することができる。</li> <li>・全身運動することができる。</li> <li>・初歩的な泳ぎ、泳法の基礎となる動き、泳法を段階的に身に付けることができる。</li> <li>・安全に注意して運動をすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水難訓練の際に教員によるロールプレイを行う。</li> <li>・グループ別の時間を設け、課題に応じた細やかな練習を行う。</li> <li>・ICT機器を使用し、視覚情報を多く取り入れる。</li> </ul>
9 10 11	・球技 ・心身の機能	○	・バスケットボール、キックベースボールなど ・ボッチャ、ペガールボール等 ・ストレスへの対処について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な球技の楽しさを味わうとともに、簡易化されたゲームを行う中でルールを身に付ける。</li> <li>・ストレスの対処法が分かる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実態に応じた用具を使用し、簡易ゲームを中心に行う。</li> <li>・ICT機器を使用し、視覚情報を多く取り入れる。</li> </ul>
12 1	・器械運動 ・健康・安全	○	・柔軟運動、マット、平均台を用いた運動 ・交通事故、自然災害について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体の柔軟性、バランス感覚、体幹保持力を高め、基本的なバランス技を身に付ける。</li> <li>・交通事故、自然災害などへの備えと対応が分かる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近なものを利用して、楽しく体を動かすようにする。</li> <li>・ICT機器を使用し、視覚情報を多く取り入れる。</li> </ul>
2 3	・武道 ・ダンス ・ガンについて	○	・武道各種 ・現代的なリズムのダンス又は、創作ダンス ・健康の考え方(がん教育を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・礼儀作法の特徴を理解し、基礎的な動作を身付ける。</li> <li>・リズムに乗って踊ったり、基本的なステップや動きを身に付けて踊ることができる。</li> <li>・自己の健康に関心を持ち、がんへの理解を深めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・扱いやすいように、模擬教具を使用する。</li> <li>・動きやリズムを簡易化する。</li> <li>・ICT機器を使用し、視覚情報を多く取り入れる。</li> </ul>

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。